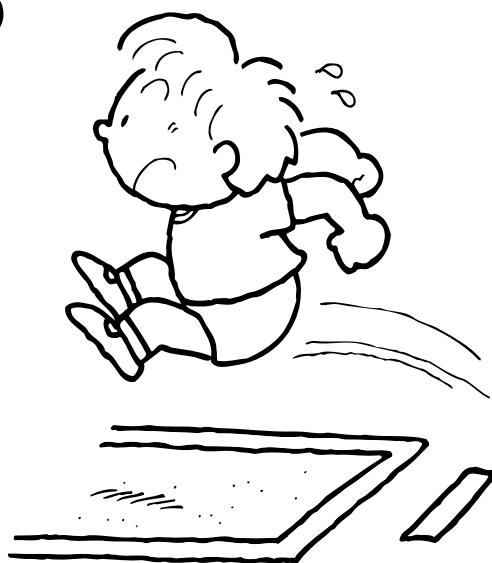


第5章 運動についての質問紙及び 体力・運動能力調査結果の分析

- 熊本県児童生徒の運動能力の過去10年間の推移が分かります。
- 調査結果の分析とともに、各学年における指導上のポイントについて明記しました。

【抽出した学年】

- ・ 小学校2年生男女(7歳)
- ・ 小学校4年生男女(9歳)
- ・ 小学校6年生男女(11歳)
- ・ 中学校2年生男女(13歳)
- ・ 高等学校2年生男女(16歳)



1 児童生徒の運動や体育の授業についての質問紙から分かったこと

(1) 調査の概要

① 調査の目的

本県児童生徒の運動や体育の授業についての意識（行動につながる意識を含む。）の把握・分析を行うことを目的に、質問紙による調査を行いました。

② 調査対象

平成29年度熊本県体力向上推進実践校に指定されている小学校2校と中学校2校に在籍する児童生徒（※以下「本県の児童生徒」）としました。

③ 調査方法

調査は7月と12月に実施し、本県の児童生徒に対して11項目（表1参照）4件法で行いました。（※項目4は、回答した理由について自由記述。）

(2) 調査結果と考察

① 本県の児童生徒の運動や体育の授業に対する意識や行動について

表1は、本県の児童生徒の運動に対する意識や行動についての調査結果です。

【表1 質問紙調査の項目内容（文章は小学校高学年対象）と調査結果（上段7月、下段12月）】

	項目内容	小学校			中学校 n=360
		低学年 n=359	中学年 n=364	高学年 n=326	
1	わたしは、運動が好きです。	3.47 3.54	3.46 3.48	3.27 3.29	2.74 ◎2.96
2	わたしは、運動が得意です。	3.31 ▼2.12	3.08 3.02	2.80 2.81	2.48 2.39
3	わたしは、運動すると、とても気持ちがいいです。	3.37 3.34	3.32 3.30	3.24 3.25	2.72 ▼2.38
4	わたしは、体育の授業が楽しいです。	3.69 3.58	3.62 3.54	3.40 3.48	2.86 ◎3.03
5	ふだんの体育の授業では、授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されています。	3.27 ▼3.13	2.83 2.88	3.10 3.36	2.93 ◎3.38
6	ふだんの体育の授業では、授業の終わりに今日学んだ内容をふり返る活動を行っています。	3.07 3.03	2.64 ◎2.96	2.87 ◎3.23	2.99 ◎3.36
7	ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たしたりするような活動を行っています。	3.50 3.49	3.32 3.39	3.25 3.48	3.00 ◎3.36
8	ふだんの体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っています。	3.06 3.15	3.11 3.15	3.12 ◎3.37	2.88 ◎3.16
9	わたしは、運動するとき、どうしたらその運動が上手になるか、考えています。	3.25 3.24	3.17 3.14	3.19 3.16	2.84 2.97
10	わたしは、体育の授業の時間以外にもよく体を動かします（運動します）。	3.26 3.29	3.25 3.30	3.25 3.19	2.75 2.96
11	わたしは、家の人から遊びや運動を積極的にすすめられることがあります。	2.77 2.70	2.57 2.57	2.60 2.60	2.64 ▼2.49

4：とてもそう思う 3：そう思う 2：あまり思わない 1：思わない

◎：評価の伸びが大きかったもの ▼：評価が大きく低下したもの

（※T検定による有意差が認められたもの）

この結果より、本県の児童生徒の運動に対する意識や行動について次の傾向が見られました。

- 本県の児童生徒は運動することが「好き」で、体育の授業を「楽しい」と感じています。そのことが、普段の生活の中で「よく体を動かしている（運動している）」習慣につながっていると考えられます。
- 学年が上がるにつれて、体育の授業の中で、目標（めあて・ねらい）を意識し、運動する仲間との交流を積極的に行い、学習の振り返りを大切にしていると感じ

る児童生徒の割合が高くなっている傾向にあります。

目標の意識化や振り返りの活動の設定は、児童生徒の「運動が上手になりたい」という意欲の喚起・充足につながっていると考えられます。

- 低学年ほど体育の授業に対する意識の低下が見られています。児童が「できそうだ」「やってみたい」と目を輝かせて学習に取り組めるような、より一層の授業改善が求められます。

項目11の「保護者からの啓発」は、2回の調査ともに低い結果となっています。子どもの体力、運動能力の実態を学級通信や保護者参観などで積極的に情報発信し、家庭での運動の推進も図っていく必要性を感じます。

② 体育の授業を「楽しい」と思う理由について

体育の授業を「楽しい」と回答した児童生徒が、その理由について自由記述したものをまとめてみました(表2)。その結果、次の傾向が見られました。

○ 小学校低学年・中学年では、体育の授業が「楽しい」理由として、運動とのかかわりがあり、そしてその運動が「できる」ことに喜びを感じています。小学校高学年・中学校では、そのことに加え、仲間や先生などの人とのかかわりがあり、仲間との協力に喜びを感じています。

【表2 体育の授業が「楽しい」理由(ことばの出現率ベスト5)について】

		小学校						中学校	
		低学年		中学年		高学年		7月	12月
		7月	12月	7月	12月	7月	12月		
名詞	1	プール	縄跳び	運動	運動	運動	運動	運動	体育
	2	運動	鉄棒	プール	好きだから	スポーツ	体育	協力	苦手
	3	ボール	体育	跳び箱	体育	いろいろ	好きだから	スポーツ	いろいろ
	4	遊び	運動	いろいろ	いろいろ	協力	協力	先生	プレー
	5	鬼ごっこ	マット	ドッジボール	縄跳び	気持ち	いろいろ	いろいろ	達成
動詞	1	できる	できる	できる	できる	できる	できる	動かす	できる
	2	走る	動かす	動かす	動かす	動かす	動かす	できる	動かす
	3	動かす	走る	走る	走る	走る	動く	動く	走る
	4	泳ぐ	つく	動く	動く	教える	走る	教えてくれる	動かせる
	5	動く	動く	泳ぐ	勝つ	動く	くれる	教える	動く

(3) まとめ

以上の結果から、児童生徒が運動や体育の授業を好きになって、日常的に運動に親しむ習慣を身に付けていくために、以下の点に留意して指導する必要があると考えられます。

- 小学校低学年、中学年の授業づくりでは、様々な運動やスポーツと豊かにかかわり合うようにすることが大切です。そして、児童に「できた」「分かった」という有用感を味わわせるような指導が求められます。
- 小学校高学年、中学校の授業づくりでは、運動やスポーツと豊かにかかわり合うことに加え、仲間などの人とのかかわり合いを活動の中に設定していくことが大切です。そして、仲間と協力しながら、共有の課題を解決していけるような指導(支援)が求められます。